

みかい

安住院便り
(第30号)

平成25年1月1日発行

〒703-8236
岡山市中区国富3丁目1-29
住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

副住職

昨年十二月末、現住職の長女が結婚を致しました。盆経などで運転手をして頂いている女性です。その相手方が、当安住院の副住職になる僧侶です。この後、檀信徒の皆様には何かとお世話になることと存じますが、宜しくお願ひ申し上げます。紹介は別掲で挙げますが、安住院も、久しぶりに二人の僧侶にて檀務を行うことが出来ます。



江戸時代には、地方の寺院は、学校であり、役所であり、情報発信の拠点でありました。よって、様々な人が集まり、僧侶も沢山住んでおりました。また一般の人が勉強の出来る数少ない場所でもありましたので、僧侶になりたい人も多くいました。その中から住職として寺を護る人が出ていきました。しかし、現代は政治経済の状況が大きく変化して、後継者育成に苦慮しておられる寺院も多くあります。少子化の影響だけでなく、一般業種と同じ悩みを抱えているのです。

そのような社会情勢の中、安住院に新しい副住職を迎えることが出来たことは、当院御本尊千手観音様の御加護と信じ、御縁の大切さを感じております。

副住職といっても、仕事の内容は何も変わりません。住職は寺の代表役員としての責任はありますが、檀信徒の皆様への接し方は同じと考えて頂ければ幸いです。

組織でのトップとナンバー2と関係は、役割分担をしたり、トップを補佐するのが副の仕事ですが、寺院の中で法務について、僧侶としての仕事は同じことをします。また同じ事が出来る資質も当然備わっています。慣れや経験の問題もありますが、それは大きなことでは有りません。経験することの大切さもありますが、若さ故の創造性も重要です。寺院という組織は、中々変化をすることは出来難いものですが、これからの世界の流れの中、仏教の役割が問われている状況でもあり、今後の新しい風に期待して下さればと考えます。

これからも、この瓶井の谷に佇む古刹・安住院の護持が出来るよう、次の代に引き継いでいけるよう、皆様の温かいご協力を宜しくお願い申し上げます。

合掌

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

初観音法会のご案内

来る一月十七日（木曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、「ご参詣下さい。」また、特別祈祷も申し受けますので、三日前までにご連絡下さい。

（生駒善勝）師について

新しい副住職のプロフィールを紹介いたします。

名前・善勝（ぜんしょう）

生年・昭和五十七年

（現在、満三十歳です）

生まれ・愛知県豊川市

（愛知県の東の端よりで、日本三大稲荷の一つ、豊川稲荷が近くにあります）

和歌山県の高野山大学出身で、大学卒業後は、高野山にある総本山金剛峯寺に勤務していました。ここ三年間は、弘法大師さまの御廟がある奥之院で、法衣を着て、様々なお勤めをしていました。皆様も奥之院に参拝の節には、その姿を目にしていたかもしれませ

ん。
趣味は、テニスと車を運転することです。



瀬戸内観音霊場開創記念法要

本年四月二十一日（土）に毎年恒例の瀬戸内観音霊場の開創記念法要が行われます。今年の会所は、福山市芦田町（第三十三番札所）の福性院です。

淡路島霊場参拝

昨年十月四日、淡路島にある十三仏霊場と七福神霊場のお参りの二回目として、中南淡路の六ヶ寺を訪れました。

天候に恵まれ、絶好のお参り日和でした。淡路島にもこのような険しい山があつたのかと思わせる程、石段を上がつた山頂の伽藍は、素晴らしきものでした。更に、海が見渡せる絶景のお寺もあり、様々な所を訪れました。

また、どのお寺でも心温まる御接待を頂き、ゆつくりと本堂でお勤めが出来ました。阪神地区に近いこの地に、のんびりと巡拝の出来る札所がある事を改めて知り、是非皆さんの憩いの場所にして欲しいとの願いを込めて、いろいろな神様・仏様に御祈念しながらのお参りでした。

次の予定は、四月二十四日（水）淡路島の第三回目です。是非ご参加下さい。

